
5065. 輸入品目税率照会

業務コード	業務名
IHS	輸入品目税率照会

1. 業務概要

輸入品目コード及び国コード単位に登録されている輸入品目の税率に係る情報を照会する。

2. 入力者

全利用者（厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

3. 制限事項

1回での照会件数は最大100件とする。

なお、100件を超える場合は、注意喚起メッセージを出力する。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 輸入品目関連チェック

①入力された品目コードが輸入品目DBに存在すること。

②入力された品目に基本税率、暫定税率、特惠税率、特別特惠税率、WTO協定税率またはEPA協定税率のいずれかが登録されていること。

(4) 国関連チェック

入力された国名コードが国DBに存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、輸入品目税率照会情報の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 注意喚起メッセージ出力処理

注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

①差額関税が照会された場合。

②照会件数が100件を超える場合。

③オベリスク対象の品目コードが50件を超える場合。

(3) 輸入品目税率照会情報編集出力処理

輸入品目DB、EPA税率管理DBまたは国DBより輸入品目税率照会情報の編集及び出力を行う。

出力項目については「出力項目表」を参照。なお、出力順は、特別特惠税率→特惠税率→EPA協定税率→WTO協定税率→暫定税率→基本税率の順とし、輸入品目DBまたはEPA税率管理DBに登録されている税率を出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
輸入品目税率照会情報	なし	入力者

7. 特記事項

税率に出力する税率パターンは以下の表の通り。

税率パターン	出力形式
従価税	XX%
従量税	¥XX/従量税単位
併用税率	XX%+¥XX/従量税単位
差額関税 1	1KGにつき、XX 円との差額
差額関税 2	1KGにつき、XX 円と課税価格に XX を乗じて得た額との差額
選択税率（高い税額） 1	XX%又は¥XX/従量税単位のうちいずれか高い税率
選択税率（高い税額） 2	XX%又は XX%+¥XX/従量税単位のうちいずれか高い税率
選択税率（低い税額） 1	XX%又は¥XX/従量税単位のうちいずれか低い税率
選択税率（低い税額） 2	XX%又は XX%+¥XX/従量税単位のうちいずれか低い税率
複合税率	1KGにつき、XX 円に重量比による乳糖の含有率が 10%を超える 1%ごとに XX 円を加えた額
無税	FREE
免税	EXMP

XX：輸入品目DBまたはEPA税率管理DBに登録されている数値を出力
従量税単位：KG、L、NO 等